

03

成長戦略

P.19 次元上昇モデル

P.20 次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現——Core Value

P.21 次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現——Social Value

P.22 次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現——グローバルサウス

P.23 **特集** グローバルNo.1のサーキュラーエコノミープロバイダーへ
—Radius Recycling社の完全子会社化—

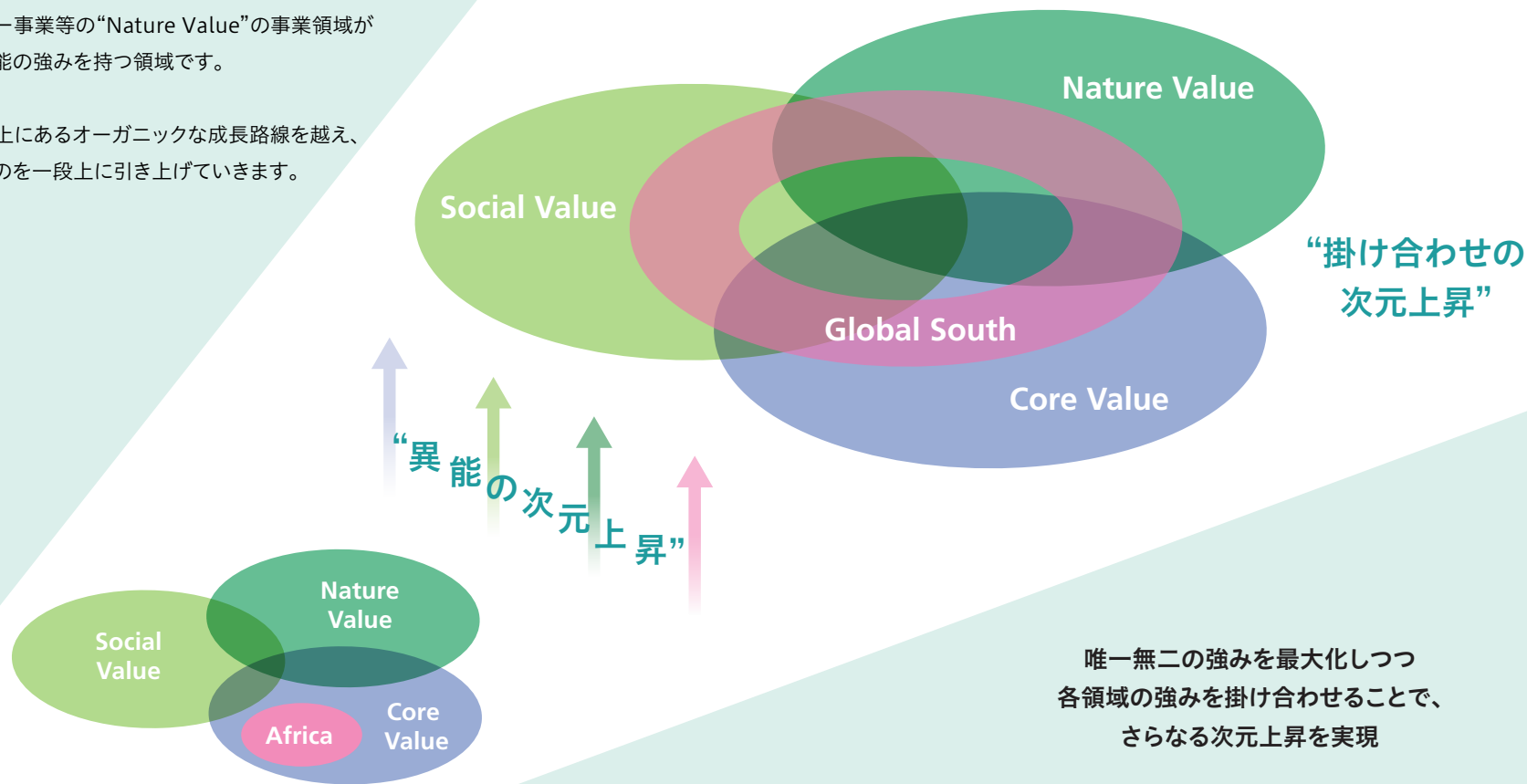


次元上昇モデル

「次元上昇」による成長の実現

自動車関連事業を中心とした“Core Value”、
循環型静脈事業等の“Social Value”、
再生可能エネルギー事業等の“Nature Value”の事業領域が
他社に負けない異能の強みを持つ領域です。

過去からの延長線上にあるオーガニックな成長路線を越え、
事業の次元そのものを一段上に引き上げていきます。



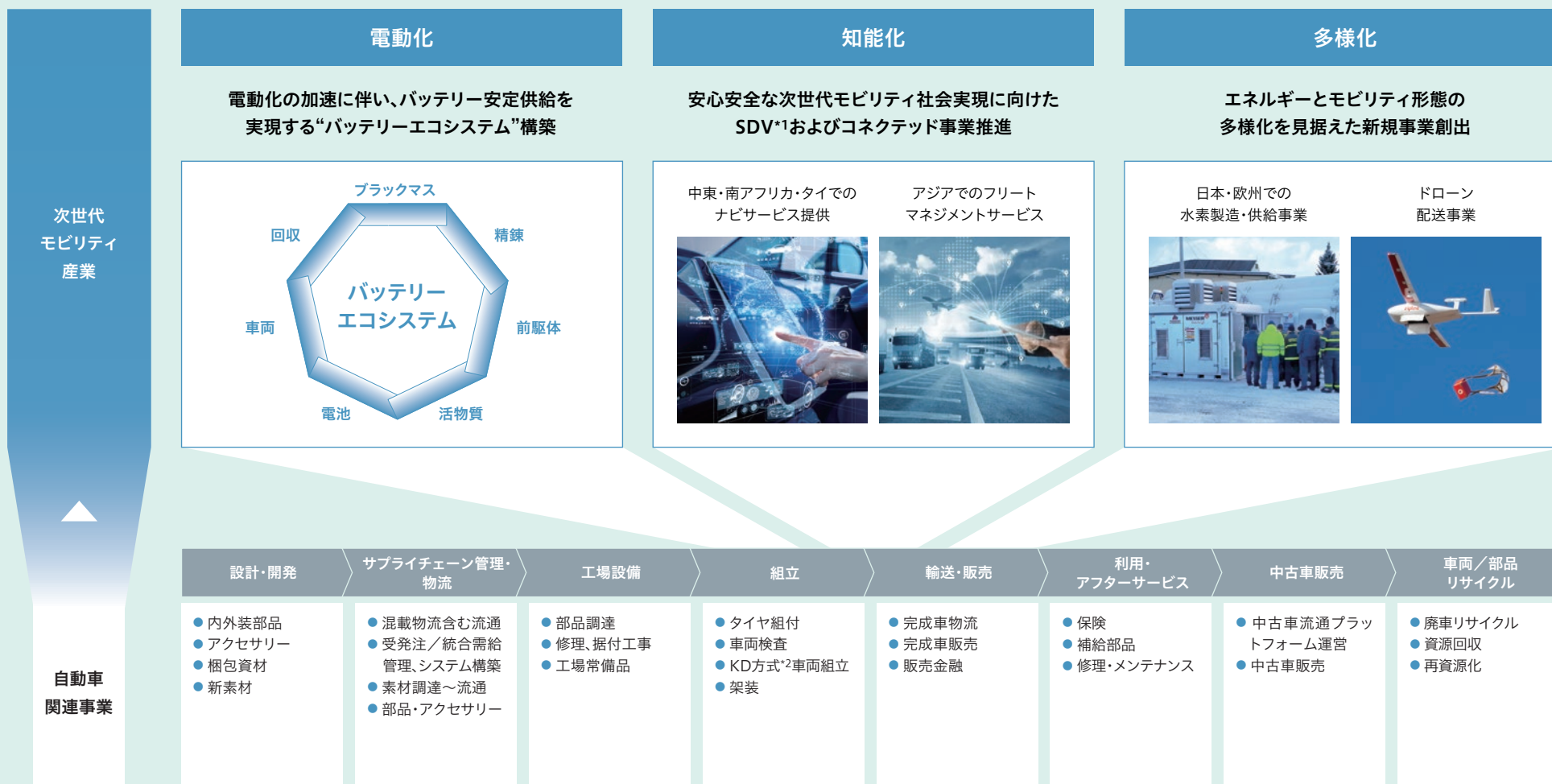
唯一無二の強みを最大化しつつ
各領域の強みを掛け合わせることで、
さらなる次元上昇を実現

同時に
次元上昇した領域を
グローバルサウスへ展開

次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 ― Core Value

次世代モビリティ社会の先導者となる

自動車産業は100年に一度の大変革期にあり、次世代モビリティ産業へと進化しつつあります。これまで当社が培ってきた自動車関連事業の総合バリューチェーンを活かして、「電動化」「知能化」「多様化」の切り口で新たな事業を創出することで次世代モビリティ社会の先導者となります。



*1 Software Defined Vehicle

*2 Knock Down 方式：製品を部品または半完成品の状態で輸出し、海外の工場を組み立てる生産・物流の方式

次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 — Social Value

グローバルNo.1のサーキュラーエコノミープロバイダーへ

豊田通商グループは、自動車製造における原材料調達から販売に至る「動脈サプライチェーン」と、廃車や廃プラスチック等の資源回収、再資源化を行う「静脈サプライチェーン」を一貫して構築してきました。また、将来のバッテリー需要の高まりを見据えて、廃バッテリー再資源化に先行して取り組んでいます。これらの取り組みをグローバルへ展開し、グローバルNo.1のサーキュラーエコノミープロバイダーを目指します。



次元上昇の取り組みによる成長戦略の実現 ― グローバルサウス

アフリカでの事業規模を3倍へ拡大

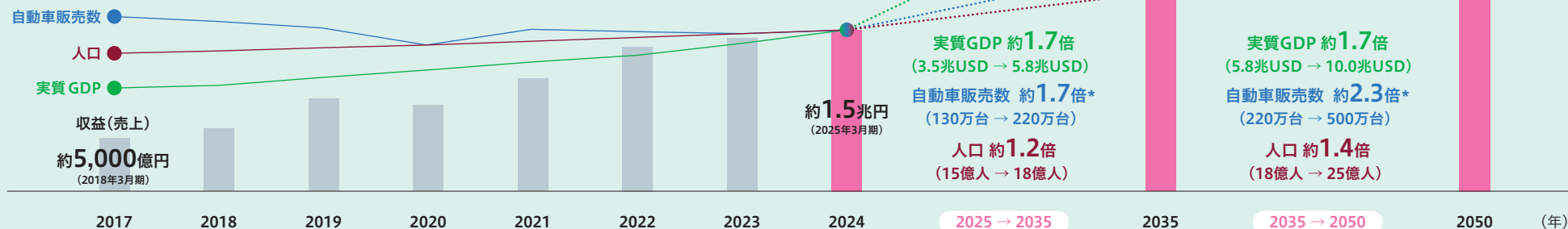
豊田通商グループは170年以上にわたり、アフリカの経済発展に携わってきました。グループ会社のCFAO社と共に、モビリティ・グリーンインフラ・ヘルスケア・コンシューマーという4つの事業領域と、アフリカ全54カ国での面展開によって、2017年からの7年間で約3倍の成長を実現しました。アフリカの人口や経済の成長はさらに加速し、世界の成長エンジンとしての役割が期待されています。この急激な成長と共に顕在化する課題の解決に貢献する事業を創出することで、2035年に向けて事業規模を約3倍へ拡大していきます。



全54カ国のネットワーク

2025年→2035年で
3倍の成長を目指す

2017年→2024年で
3倍に成長



*当社推計値

特集

グローバルNo.1の
サーキュラーエコノミー
プロバイダーへ

—Radius Recycling社の完全子会社化—

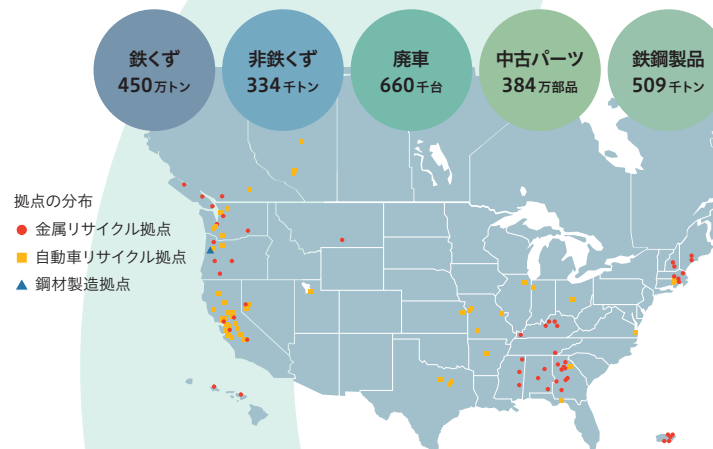
当社は、2025年7月に、Toyota Tsusho America社を通じて、北米トップクラスのリサイクル企業である米国のRadius Recycling社を完全子会社化しました。豊田通商が持つ再生資源を軸としたクローズドなサプライチェーンを構築する機能とRadius Recycling社の強みを掛け合わせることで、新たなモノづくりを通じて北米における高品質な再生資源の供給を強化していきます。



1 Radius Recycling社の強み

① 北米で100を超える自社回収・集荷拠点

取り扱い品目（2024年8月期末実績）



② 顧客ニーズに合わせた再生資源の供給能力

Radius Recycling社の強みは全米各地のネットワークを活かした母材回収、回収した母材を高品質な再生資源へ選別加工する技術、またそれらを港湾設備等を活用し国内のみならずグローバルへ供給できる体制にあります。これによりお客さまの多様な素材ニーズに対応した高品質な再生資源の安定供給が可能となります。

また、電炉を活用したグリーンスチールの製造や、使用済み自動車から取り外した部品の販売から金属資源回収までを一貫して行うPick-n-Pull事業、パートナー連携による全米回収ネットワークを活用したワンストップ廃棄物引き取り・再資源化サービスを通じて、環境負荷の低減と資源循環の両立を図り、持続可能で豊かな社会の実現に貢献しています。

2 強みの掛け合わせで、再生資源の
グローバルへの供給基地を目指す

「金属スクラップ」「使用済み自動車」「車載用電池」の3つの領域でシナジーを最大化させ、再生資源のグローバルへの供給基地を目指します。当社の強みである、製造工程から発生する廃材や使用済み品を回収し再度生産工程へ供給する「クローズドループの構築」、廃車のみならず廃触媒や車載電池まで幅広いリサイクルを可能にする「再資源化機能」と「再資源化技術」をRadius Recycling社の強みと掛け合わせることで幅広くサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルに貢献することを目指します。

金属スクラップ



- 回収ヤード網 (53拠点)
- 豊富な取扱数量 (米国2位)

シナジー

- 再生資源を起点としたグリーンスチールのサプライチェーン構築
- 自動車OEMの再生資源ニーズに対する高品質な再生材料サプライチェーン構築



- 自動車OEMへの鋼材サプライチェーン
- 再生資源品質の作り込み
- 工場内廃棄物管理サービス

使用済み自動車



- 回収ヤード網 (50拠点)
- シュレッダー母材

シナジー

- 既存の取扱商品に対する付加価値の向上 (再生資源・部品)
- 自動車OEM向け廃触媒由来の再生貴金属供給量の増加



- 使用済み自動車からの高い資源回収率
- 自動車OEM向けクローズドループ

車載用電池



- 使用済み自動車からの回収

シナジー

- 市中発生の使用済み電池・工場発生電池廃材の回収と再資源化による電池クローズドループの構築



- 電池の再資源化技術
- 電池メーカーへの再生電池材料のサプライチェーン

